平成 29 年 12 月

上郷東地区まちづくりニュース　Vol.7

「上郷東地区まちの再生・活性化委員会」にて具体的な検討が進んでいます！

平成 28 年度に策定された「上郷東地区まちづくり構想」に沿って、まちの再生・活性化を図るため、「上郷東地区まちの再生・活性化委員会」を平成 29 年 6 月に立ち上げました（要綱は下記 HP 参照）。

委員会では、具体的な取組を行うために、３つの分科会（①旧庄戸中学校後利用分科会②地域交通分科会③こども・子育て分科会）を設置して活動しています。

この度、11 月 25 日(土)に開催された「第２回上郷東地区まちの再生・活性化委員会」で 10 月までの分科会活動の中間報告がありました。

旧庄戸中学校後利用分科会（３回開催）	分科会での「旧庄戸中学校活用案」がまとまりました。 （裏面参照、HP にはカラーのデータをアップしています）
地域交通分科会（３回開催）	分科会の要望事項がまとまりました。 1.上郷公田線の供用開始に伴い、バス路線を新設すること。 2.渋滞を解消し、将来の地域活性化につなげるため、環状４号線の早期改善・整備を図ること。
こども・子育て分科会（２回開催）	PTA の若い世代等の意見を集約しました。 例: 車が運転できるので不便はないが将来が不安。働く場所が身近にほしい。庄戸中後利用の影響大きいのではないか。

各分科会のリーダーから活動報告があり、その後の意見交換では、３つの分科会がそれぞれ関連していることや、今までの活動をどのように活かしていくか等、活発な議論が展開されました。

引き続き地域の課題解決に向けて、地域のみなさまと一緒に取り組んでいきます。

皆様のご意見を募集しています

上郷東地区まちの再生・活性化委員会の当日配布資料等は栄区ホームページにて公開しています。

栄区役所ホームページ→栄区のまちづくり→郊外部（上郷東地区）のまちづくり

ご意見・お問合せは、下記連絡先までお願いします。

今までの取組・会議資料などは下記ホームページをご参照ください。

http://www.city.yokohama.lg.jp/sakae/guide/machi/kougaibu/

問合せ先：栄区役所区政推進課企画調整係（担当：川崎、村田）

Tel：045-894-8331　Fax：045-894-9127　E-mail：sa-kikaku@city.yokohama.jp

分科会での活用案のとりまとめ／後利用テーマ；円海山の自然に抱かれて、多世代が活き活きと暮らすまちを支える

平成 29 年９月

「上郷東地区まちづくり構想」
跡地利活用の視点

＜基本的な視点＞

1．上郷東地区のまちづくりに貢献する。
2．低層の戸建住宅を中心とした街並み・景観との調和に配慮する。
3．地域の軸となる基盤整備と一体的に検討する。

＜考慮する視点＞

1．地区のまちづくりや地域交流、文化交流の中心的役割を担う場として構想する。
2．地区内の福祉サービスや健康増進（介護予防含む）の中心的な役割を果たす利用を構想する。
3．魅力資源である自然を楽しむための入口や学習・体験の場としての活用や、農的活用を構想する。

柱１；元気にいつまでも安心して地域で暮らす

これからの 10 年間、後期高齢者等の急増が予想され、在宅での生活支援、介護予防や入所施設整備などを強化する。

総合案内・相談所
- 地域ケアプラザ等のブランチ機能設置
- 生活支援サービスの案内
- 移動支援団体との連携

医療・要介護高齢者等のケア支援
- 病児のための子ども医療センター
- 入所施設～住宅型有料老人ホーム　等

健康増進・介護予防
- 通所施設～運動や歌の歌えるデイサービス
- 運動の出来る場

障害者の社会参加と地域貢献
- 障害者通所事業所（授産施設）

一体的な連携

柱２；若い世代の定住支援を強化する

20～30 年先の未来に向けて、若者や子育て層の移住や定住促進のため、若い世代の生活支援機能を強化する。

子育て支援機能を導入する
～さかえ次世代交流ステーションの地域版～
- 保育事業
- 親と子のつどいの広場
- 青少年の居場所づくり

居住しながら働ける魅力的な場づくり
- 新しい職域、活動の場づくり……テレワークオフィス、シェアオフィス（ＩＴを活用したスモールオフィス群）

エコ・ユニバーサルデザイン
- 車イスで敷地内を回遊できる。
  エレベーター設置、段差解消
- 適切な手すりの設置
- 緑豊かなうるおいのある空間
- 太陽光発電

≪地域における管理運営の考え方≫
- 現在、コミュニティハウス、体育館、格技場、グラウンドを暫定利用している。（コミハ以外は地域による自主管理運営）
- 柱３については、市の施設として引き続き地域主体の管理を基本としたい。将来的には、地域組織による法人化（NPO 法人、一般社団法人等）をめざす。

柱３；コミュニティ活動の拠点を設ける

いつまでも健康で元気に暮らす基盤整備のため、コミュニティ活動の拠点を一層拡充する。

独自のコミュニティハウスを再整備
- 地域開放多世代交流スペース
- 青空市場、サロン、カフェ
- 交流レストラン（食堂）
- 多目的室（イベント・展示室）
- 音楽室、会議室、事務室、貸教室
- ちびっこルーム　など

総合スポーツセンターとしての利活用
- 体育館、格技場（武道・伝統芸能）
- 校庭（ちびっこ広場、テニスコートなど）
  ※大駐車場（来場者用）の意見もある。
- プール

地域防災拠点として継続
- 特別避難場所、物流拠点、医療拠点の機能を持つ

一体的な連携

柱４；環境を活かした特徴的な魅力を創る

円海山の広域緑地の出入口に位置する特性を活かし、自然を取り入れた魅力づくりをはかる。

周辺の緑環境の魅力で、来街者を増やす
- 周辺の市民の森、ハイキングコース、散策コースへのインフォメーション機能の整備（森の家等との連携による運営）
- 庄戸トンネル上部も活用する（地域内の緑を増やす、桜並木（桜＝栄区の木）、富士山の眺望を名所にする、遊歩道＋カフェなど）

地域の特性を活かした「事業」の創出
- 健康野菜の栽培（教室を利用した施設栽培、校庭を利用した野外栽培）や野菜加工・販売（近隣農家の野菜等も一緒に販売）。収益を活用し、ミニバス運行や栽培技術開発等の財源に充当。
- 間伐材を活かした事業化支援（木工芸・木工おもちゃなどのクラフト事業等）